

【総括表】

大館市公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(供給処理施設)

1 計画期間 平成30年4月1日から令和14年3月31日まで
計画見直し予定年度(令和3年度、令和8年度)

2 対象施設 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	
379	大館市粗大ごみ処理場	沼館字下堤沢	存続	機能維持のための修繕を実施
380	大館市し尿処理場	松木字高館平	廃止	建替え(し尿受入れ施設を建設)
381	大比立鉱山坑廃水中和処理施設	早口字大比立内	存続	機能維持のための修繕を実施
382	大滝温泉集中管理施設	大滝字後田	存続	機能維持のための修繕を実施
383	雪沢温泉ポンプ室	雪沢字大滝	存続	機能維持のための修繕を実施
384	大館市エコプラザ	沼館道南	存続	機能維持のための修繕を実施

3 施設管理に関する基本的な方針

- ・し尿処理場については、新施設(し尿受入れ施設)を県施設(流域下水道大館処理センター)敷地内に整備し、下水道と共同処理することで、建設費や管理費の低減を図る。
- ・粗大ごみ処理場や温泉供給施設などについては、機能の維持・確保が必要であり、計画的な修繕や更新などにより、適正な維持管理を図る。

作成日：平成30年3月13日

変更：令和 5年3月20日

【個別票】

所管課 市民部環境課

1 施設の概要

施設名称	大館市粗大ごみ処理場	施設面積	481.86 m ²
所在地	大館市 沼館字下堤沢130番地2	建設年	昭和 54 年 (耐用年数 31 年)
複合施設名		構造・階数	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 2 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	C 型	耐用年数を経過し、老朽化
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕
「基本的な方針の考え方」 本施設は、市内から排出される一般廃棄物を中間処理し最終処分する施設であり、市民生活に直結し環境保全のために必要不可欠な施設であることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後 20 年以上使用 】

一般廃棄物処理は市町村の所轄事務であり、処理施設は必要な施設であること、最終処分場の残余年数が23年間（令和22年まで）で、この間は現在地での使用が効果的であることなどから、機能維持のための修繕等を行いながら、今後20年以上の使用を目標とする。
--

4 管理上の課題等

建物については、耐用年数を経過し耐久性に対して不安があるため、将来的に大規模修繕が必要となる場合がある。機械設備等についても、耐用年数を経過しており、故障等が発生した場合でも休止することができないため、使用年数を考慮すれば早期の更新が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・建物の機能維持に必要な修繕（屋根の塗り替え等）の実施。
- ・機械設備等の機能維持に必要な修繕（破碎機の更新等）の実施。
- ・目標使用年数までは、予防保全型管理に努め、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	搬出棟他屋根修繕 外	29,000	
R01	破碎機ローター等修繕 外	36,162	
R02	貯留ホッパー取替修繕（磁性物） 外	25,180	
R03	貯留ホッパー取替修繕（不燃物） 外	24,840	
R04	破碎機更新修繕 外	85,246	
R05	導水管取替修繕 外	49,848	
R06	供給コンベアエプロンパン等交換修繕 外	33,240	
R07	鉄分分別装置等取替修繕 外	25,000	
R08	破碎機ローター等修繕 外	35,480	
R09	搬出コンベアベルト取替修繕 外	25,000	
R10	受入コンベアエプロンパン等交換修繕 外	23,820	
R11	供給コンベアエプロンパン等交換修繕 外	25,000	
R12	破碎機ローター等修繕 外	36,078	
R13	破碎機出口カバー取替修繕 外	25,000	
合 計		478,894	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	83,330	84,367	82,106	
運用コスト	9,440	9,272	8,732	
修繕コスト	29,622	33,632	30,065	
その他	1,633	1,838	1,851	
（合計）	124,025	129,109	122,754	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	19,532	19,053	19,789	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用車両台数	12,763	13,055	12,944	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和 5年3月20日

【個別票】

所管課	市民部環境課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館市し尿処理場	施設面積	4,186.50 m ²
所在地	大館市 松木字高館平2番地1	建設年	昭和 59 年 (耐用年数 25 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造地上2階地下1階
特記事項	避難所指定		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	C 型	耐用年数を経過し、老朽化
基本的な方針	廃止	建替え（し尿受入施設を建設）

「基本的な方針の考え方」

大館市し尿処理場を修繕や工事で延命化し、新し尿処理施設（し尿受入施設）稼働まで存続させる。将来、県や関係機関と連携をとり、新し尿処理施設を流域下水道大館処理センター敷地内に整備し、し尿等は下水道と共同処理する。また、処理によって発生する脱水汚泥は同敷地内に建設する広域汚泥資源化施設で資源化する。

集約・複合化の検討について

新し尿処理施設を流域下水道大館処理センター敷地内に整備し、し尿等を下水道と共同処理することで集約を図る。

公民連携の検討について

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

令和2年度から、大館市し尿処理場の脱水汚泥を県北地区広域汚泥資源化施設で下水汚泥等と共同処理して資源化を行っている。

3 目標使用年数 【 令和6年頃を目処に休止 】

- ・大館市し尿処理場は今後3年程度使用する。
- ・し尿受入センターの本稼働後に、大館市し尿処理場を休止する。

4 管理上の課題等

- ・定期修繕
- ・受電・変電設備の更新
- ・水槽設備の浚渫
- ・精密機能検査
- ・新し尿処理施設の整備

5 管理に関する実施方針

- ・定期修繕を継続し、設備等の機能を維持する。
- ・精密機能検査を実施して、修繕必要箇所を洗い出し、対策を講じる。
- ・し尿受入センターを整備し、下水道との共同処理を行う。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03	定期修繕	51,745	
R04	定期修繕	39,857	
R05	定期修繕	17,343	
R06	残置物処理（休止又は廃止届）	100,000	
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		208,945	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	92,836	94,620	96,977	
運用コスト	56,259	56,043	50,780	
修繕コスト	43,717	47,947	50,681	
その他	203	166	223	
（合計）	193,015	198,776	198,661	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	5,716	5,547	5,506	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用車両台数	11,427	10,763	10,613	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	市民部環境課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大比立鉾山坑廃水中和処理施設	施設面積	49.57 m ²
所在地	大館市 早口字大比立内9番地15	建設年	昭和 49 年 (耐用年数 15 年)
複合施設名		構造・階数	木造 1 階
特記事項	沈殿池 (鉄筋コンクリート造)、殿物脱水設備 (単管組み)		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	C 型	耐用年数を経過し、老朽化
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>本施設は、休廃止鉾山から流出する坑廃水を中和処理する施設であり、環境基準を遵守するために必要不可欠な施設であることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等 (町内会等を含む) への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後 20 年以上使用 】

大比立鉾山からの坑廃水が流出する限り必要な施設であり、機能維持のための修繕等を行いながら、今後 20 年以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、坑廃水の流出状況や、建物・設備の状況等を見ながら、以後の方針を決める。

4 管理上の課題等

築 40 年以上が経過し、経年劣化により耐久性に対して不安があるため、将来的に大規模修繕が必要となる場合がある。

5 管理に関する実施方針

- ・建物の機能維持に必要な修繕（屋根の塗り替え等）の実施。
- ・工作物の機能維持に必要な修繕（沈殿池の更新等）の実施。
- ・目標使用年数までは、予防保全型管理に努め、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	殿物脱水設備改修	1,000	
R01			
R02			
R03			
R04	苛性ソーダ溶液槽更新修繕 外	4,367	
R05			
R06			
R07			
R08	ドリームネット外袋交換(60袋)	2,700	
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計		8,067	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	14,443	14,892	15,340	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	1,831	859	2,855	
その他	86	83	85	
（合計）	16,360	15,834	18,280	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等	-	-	-	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	観光交流スポーツ部観光課
-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	大滝温泉集中管理施設	施設面積	21.66 m ²
所在地	大館市 大滝字後田44番地5	建設年	昭和 49 年 (耐用年数 38 年)
複合施設名		構造・階数	鉄筋コンクリート造 1 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	C 型	耐用年数を経過し、老朽化
基本的な方針	存続	機能維持のため修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>建物の耐用年数を経過し、老朽化が進行しているが、大滝温泉の貯湯・配湯施設としての活用に支障がなく、今後も必要とされる施設であることから、目標使用年数までは存続させていく。</p>		

集約・複合化の検討について

大滝温泉倉庫と集約も検討。

公民連携の検討について

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【 今後10年以上 】

建物の耐用年数を迎えているが、建物の現状から今後10年以上の使用を目標とし、機能維持のための修繕を実施しながら施設を存続させていく。目標使用年数経過後は、建物や設備の状況を見ながら、今後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、経年劣化等による突発的な修繕が必要となる可能性がある。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、機能維持のための修繕を行いながら適正に維持していく。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	1,065	1,075	1,112	
運用コスト	4,186	4,168	4,011	
修繕コスト	186	83	205	
その他	4	4	4	
(合計)	5,441	5,330	5,332	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等	-	-	-	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	観光交流スポーツ部観光課
-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	雪沢温泉ポンプ室	施設面積	26.43 m ²
所在地	大館市 雪沢字大滝29番地8	建設年	昭和 46 年 (耐用年数 34 年)
複合施設名		構造・階数	コンクリートブロック造 1 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	C 型	耐用年数を経過し、老朽化
基本的な方針	存続	機能維持のため修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」 建物の耐用年数を経過し、老朽化が進行しているが、雪沢温泉の配湯施設としての活用に支障がなく、今後も必要とされる施設であることから、目標使用年数までは存続させていく。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

--

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後10年以上 】

建物の耐用年数を迎えているが、建物の現状から今後10年以上の使用を目標とし、機能維持のための修繕を実施しながら施設を存続させていく。目標使用年数経過後は、建物や設備の状況を見ながら、今後の方針を決定する。
--

4 管理上の課題等

現状では大きな修繕や改修を要する箇所はないが、経年劣化等による突発的な修繕が必要となる可能性がある。
--

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、機能維持のための修繕を行いながら適正に維持していく。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	246	249	257	
運用コスト	981	987	914	
修繕コスト	0	0	0	
その他	1	1	1	
(合計)	1,228	1,237	1,172	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等	-	-	-	

作成日：平成30年3月13日

変更：令和4年3月23日

【個別票】

所管課	市民部環境課
-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大館市エコプラザ	施設面積	379.66 m ²
所在地	大館市 字沼館道南40番地12	建設年	平成 26 年 (耐用年数 38 年)
複合施設名		構造・階数	鉄骨造 1 階
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	A 型	耐用年数経過前
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>本施設は、資源の有効利用や廃棄物の減量に関する市民の意識の向上を図るため、平成27年5月から供用を開始した施設であり、今後も必要な施設であることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

集約・複合化の検討について

--

公民連携の検討について

指定管理者制度導入済み。

民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

--

国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【 今後35年以上使用 】

建物の耐用年数以上を使用目標とし、目標使用年数経過後は、建物の状況や利用者数を見ながら、以後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

平成26年に建築された建物であるため、現状、管理上の課題はない。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30			
R01			
R02			
R03			
R04			
R05			
R06			
R07			
R08			
R09			
R10			
R11			
R12			
R13			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト	150	155	176	
運用コスト	658	649	680	
修繕コスト	0	0	0	
その他	7	14	14	
(合計)	815	818	870	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	64	91	74	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等	14,435	13,331	8,624	